

バイオレッタ ソーラーギア VS12-B115LAM 電池格納部

取扱説明書

このたびは、モバイル太陽電池「バイオレッタ ソーラーギア」をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。本製品と併用いただく付属品および別売品についても、ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

製品概要

防水・防塵仕様の汎用可搬型太陽発電システム用ディープサイクルバッテリー格納部です。薄型軽量で高効率の太陽電池パネルと、小型軽量で耐候性の高い電池格納部の組み合わせにより、高度な汎用性、拡張性、可搬性、耐候性、耐久性を低価格で実現し、家庭のベランダから極地に至る、世界中のあらゆる場所で、防災対策用、業務用、レジャー用、日常用など、様々な用途に活用できる、メンテナンスフリーの屋外電源です。

主な機能

太陽光で内蔵のディープサイクルバッテリーを充電し、AC100V正弦波(コンセント)、DC5V(USB)、DC12V(充放電コントローラー負荷端子または防水・防塵コネクタ)から出力することにより、各種モバイル機器をはじめとする、幅広い電気機器に給電できます。LED照明などのDC12V入力機器に給電するときは、日没とともに運転を開始し、日の出とともに停止する、夜間自動運転を設定することもできます。

主な特長

- 内圧調整機能付きで安全な、保護等級IP67防水・防塵仕様の米国ベリカンケースを採用しています。持ち運びに便利な伸縮ハンドルとキャスター付きです。
- 12V、115Ahメンテナンスフリーのディープサイクルバッテリーを内蔵しています。
- 充電不足による蓄電池の過放電を防ぐ、自己消費電流わずか2mAの電変製超小型充放電コントローラーを内蔵しています。負荷の夜間自動運転機能を備えていますので、LED照明などDC12V入力機器に接続するだけで、夜間自動点灯式照明装置が完成します。
- 本製品、太陽電池パネル、「延長ケーブル」、「DC12V出力ケーブル」、「DCパワーケーブル」は、保護等級IP68防水・防塵仕様のコネクタで接続されますので、天候にかかわらず屋外設置ができます。
- 幅広い電気機器に給電できる、2つのAC100VコンセントとDC5V(USB)端子を備えた、1000W正弦波インバーターを付属しています。
- 別売りの「DC12V出力ケーブル」でDC12V入力機器に防水・防塵出力ができます。
- 最大出力180Wまでの太陽電池パネル2枚を接続して、充電時間を短縮することができます。
- 別売りの「DCパワーケーブル」で本製品同士を接続して、給電容量を倍増することができます。

安全上のご注意

危険 取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

Ⓢ: 行為を禁止する記号です。 Ⓡ: 行為を強制する記号です。

危険 以下のことを必ずお守りください。ケガ、やけど、本機の発熱、発火、破損、内蔵電池の液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

- Ⓢ 指定の充電式電池以外は充電しない。
- Ⓢ 金属物を入出力端子に接触させない。
- Ⓢ 内圧調整弁を被覆しない。
- Ⓢ ショート、分解、改造をしない。
- Ⓢ 水に入れない。
- Ⓢ 火気に近づけない。
- Ⓢ 密閉空間で使用、保管しない。
- Ⓢ 高所の落下しやすい位置で使用しない。
- Ⓡ 電池から液がもれたときは、充電を中止する。
- Ⓡ 電池が高熱を発生したときは、充電を中止する。

使用上のご注意

本製品との併用によるご使用機器の破損、データ内容の消失、事業の中断、事業機会の逸失等により生じた損害に関して、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承のうえ、ご使用ください。

主な仕様

- 内蔵蓄電池: ACデルコ M31MF ディープサイクルバッテリー
- 公称容量*: 1380Wh(12V 115Ah)
- 最大出力*: 1000W(付属インバーターAC100V出力時)
- : 2.1A(DC5V USB付属インバーター出力時)
- : 20A(充放電コントローラーDC12V出力時)
- : 17A(DC12V防水・防塵コネクタ出力時)
- 使用周囲温度(充電)**: -10~50℃
- 使用周囲温度(給電)**: 0~40℃(付属インバーターAC100V出力時)
- : -15~60℃(充放電コントローラーDC12V出力時)
- : -15~60℃(DC12V防水・防塵コネクタ出力時)
- 外形寸法(幅X奥行X高さ): 500X305X457mm
- 重量*: 約36.5kg(付属品を含む)
- 入出力端子*: IP68防水・防塵カバー付コネクタX2
- 出力端子*: AC100VコンセントX2(付属インバーター)
- : DC5V USBX1(付属インバーター)
- : DC12V充放電コントローラー負荷端子X1
- 保護回路*: 電変 SA-BC20 充放電コントローラー
- : 短絡防止用20AヒューズX2、逆流防止用ショットキーダイオードX2
- : R-INVT-PGH2-101106 1000W正弦波インバーター*
- 付属品*: *周囲温度 25℃ 放電レート 20時間 **ただし、氷結しないこと

各部の名前



ご使用方法

太陽電池パネル・AC充電器の接続方法

- 1 いずれかの防水・防塵コネクタに、太陽電池パネルまたは別売りのAC充電器を接続します。コネクタのカバーを反時計回りに緩めて取りはずし、▲印を合わせコネクタ同士を嵌めさせたら、リングを時計回りに指でしっかり締め付けてください。

⚠️注意 ケーブルを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

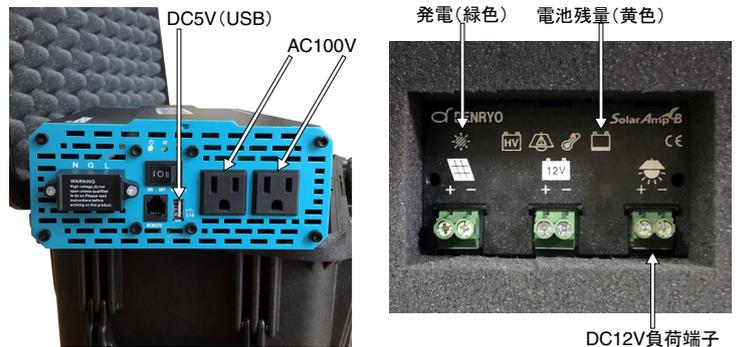


内蔵蓄電池の充電方法

- 1 太陽電池パネルに太陽光を当て、内蔵蓄電池を充電します。太陽電池パネルを柵や地面に固定するためには、Sカン、結束バンドやアウトドア用ベグなどをご使用ください。太陽電池パネルを太陽の方向に向け、パネル面の角度を入射光と垂直に近くなるように固定すると、効率よく充電できます。夜間や悪天候のときは、AC充電器で充電してください。

電気機器への給電方法

- 1 内蔵蓄電池を適度に充電したら、電池格納部を開け、インバーターを取り出します。
- ⚠️注意 内蔵蓄電池は、適度に充電すれば、満充電しなくても給電できます。ただし、給電できる時間は、内蔵蓄電池残量および電気機器の消費電力により大きく異なります。
- 2 AC100VまたはDC5V入力機器に給電するときは、付属のインバーターの電源を入れてから、機器をインバーターに接続します。
- 3 DC12V入力機器を屋内で夜間に自動運転するときは、機器の入力ケーブルを充放電コントローラーの負荷端子に接続します。詳細は、充放電コントローラーの取扱説明書をご参照ください。
- 4 DC12V入力機器に防水・防塵出力するときは、本製品の蓋を閉めたまま、別売りの「DC12V出力ケーブル」をいずれかの防水・防塵コネクタに接続し、加工した片端を機器に接続します。
- ⚠️注意 過放電保護と夜間自動運転を有効にするには、防水・防塵コネクタへのケーブルを蓄電池から取りはずし、充放電コントローラーの負荷端子に接続します。



- 5 太陽電池による充電状況と蓄電池の電池残量を確認するためには、充放電コントローラーのLED表示を参照します。太陽電池が充電しているときは、緑色のLEDが点滅し、満充電になると点灯します。電池残量が低下すると、黄色のLEDが点滅し、さらに低下すると、点灯し、接続された負荷を遮断します。詳しくは、充放電コントローラーの取扱説明書をご参照ください。
- 6 AC100VまたはDC5V(USB)入力機器への給電完了後は、インバーターの電源を切ってから、機器を取りはずします。DC12V入力機器への給電完了後は、機器の入力ケーブルを充放電コントローラーの負荷端子または防水・防塵コネクタから取りはずします。
- 7 防水、防塵、ショート防止のため、給電完了後は、本製品の蓋を閉め、防水・防塵コネクタのカバーを装着してください。
- 8 別売りの「DCパワーケーブル」で本製品同士を接続して、給電容量を倍増することができます。消費電力が200W~400Wの機器に給電するときは、2本使用します。
- ⚠️注意 消費電力が400Wを超える機器には、使用できません。

メンテナンスについて

- 内蔵蓄電池の過放電を避けるため、低電圧警告が表示されているとき(黄色のLEDが点滅または点灯)は、速やかに充電してください。そうでない場合でも、半年に1回以上は充電してください。あまり充電せずに放置しておくと、電池が過放電により使用不能になります。
- 内蔵蓄電池の寿命は、使用環境により大きく異なりますが、3~5年毎に交換が必要です。給電可能な時間が著しく短くなったときに交換してください。
- 本製品の汚れは、乾いた布または水に濡らした布で拭き取ってください。洗剤、ベンジン、シンナーなどでお手入れしないでください。

保証期間

- お買い上げ日より1年

株式会社 太陽工房

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-10-34シティコート目黒1-101
Tel: 03-5423-6801 Fax: 03-5423-6802 E-mail: support@violetta.com
www.violetta.com

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがあります。
Assembled in Japan 20-09-01